

米国バンクローン・オープン 〈為替ヘッジなし〉 (年1回決算型)

追加型投信／海外／その他資産 (バンクローン)



作成対象期間：2021年5月21日～2022年5月20日

第 8 期 決算日：2022年5月20日

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
当ファンドは、主として円建ての外国投資信託への投資を通じて、主に米ドル建ての米国企業向けバンクローン等に実質的な投資を行うほか、米国企業が発行する米ドル建てのハイイールド債券等にも投資を行い、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざす運用を行います。ここに運用状況をご報告申し上げます。
当ファンドが受益者のみなさまの資産形成に資するよう、運用に努めてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

第8期末 (2022年5月20日)

基準価額	13,232円
純資産総額	5,076百万円
騰落率	+15.7%
分配金合計 ^(*)	0円

(*) 当期間の合計分配金額です。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、以下の方法でご覧いただけます。運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

閲覧・ダウンロード方法



<https://www.am.mufig.jp/>

[ファンド検索] に
ファンド名を入力

各ファンドの詳細ページで
閲覧およびダウンロード

MUFG 三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
ホームページ <https://www.am.mufig.jp/>

■当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客さま専用
フリーダイヤル  **0120-151034**

(受付時間：営業日の9：00～17：00、土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く)

お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

ファンドマネージャーのコメント

おかげさまで、当ファンドは2022年5月20日に決算を行いました。ここに当期の運用状況をご報告申し上げます。

■運用のポイント

それでは、当期の運用で主眼に置いたポイントをご説明させていただきます。

・コロナ後を見据えた銘柄選択

コロナ禍の影響で運転資金が枯渇する銘柄を回避し、コロナ禍でより大きな影響を受けつつもファンダメンタルズと流動性が損なわれず、市況下落時にも底堅い値動きが期待できる銘柄を厳選して保有しました。

・保守的な方針を継続しつつ、徐々にリスクオンに対応

全体的に保守的な運用方針を継続しましたが、コベナンツ条項の変化を特に注意しつつ、B格の割合を徐々に増やしました。また、宿泊、娯楽など経済活動再開の恩恵を受けられると考えられる銘柄への投資を行いました。また、新規発行銘柄への投資も活用しました。

上記は、ウエスタン・アセット・マネジメント・カンパニー・エルエルシーの資料を基に、三菱UFJ国際投信が作成したものです。

■投資環境見通しと今後の運用方針

投資環境はロシアによるウクライナ侵攻の影響を受けて不確実性が高まっているほか、資源価格は高止まりすると見えています。一方で、各国中央銀行による政策によって世界経済が新型コロナウイルス感染拡大による影響から回復するシナリオについては変わらないと見えています。

バンクローン市場のファンダメンタルズは引き続き健全でありデフォルト率も低位で維持すると見えています。格付け別では継続的な景気回復の恩恵を受けやすいB格のバンクローンが特に投資妙味があると見えています。ローン担保証券（CLO）の需要は鈍化しているものの、足下ではバンクローン市場はスプレッドの拡大が進んだため、需要が回復する可能性があります。今後の投資戦略については、企業が保有資産に対する十分な担保を保持しているかどうか、また強固で継続的なキャッシュフローを生み出せるかどうか、といった観点等に着目し、慎重な銘柄選択に努めます。



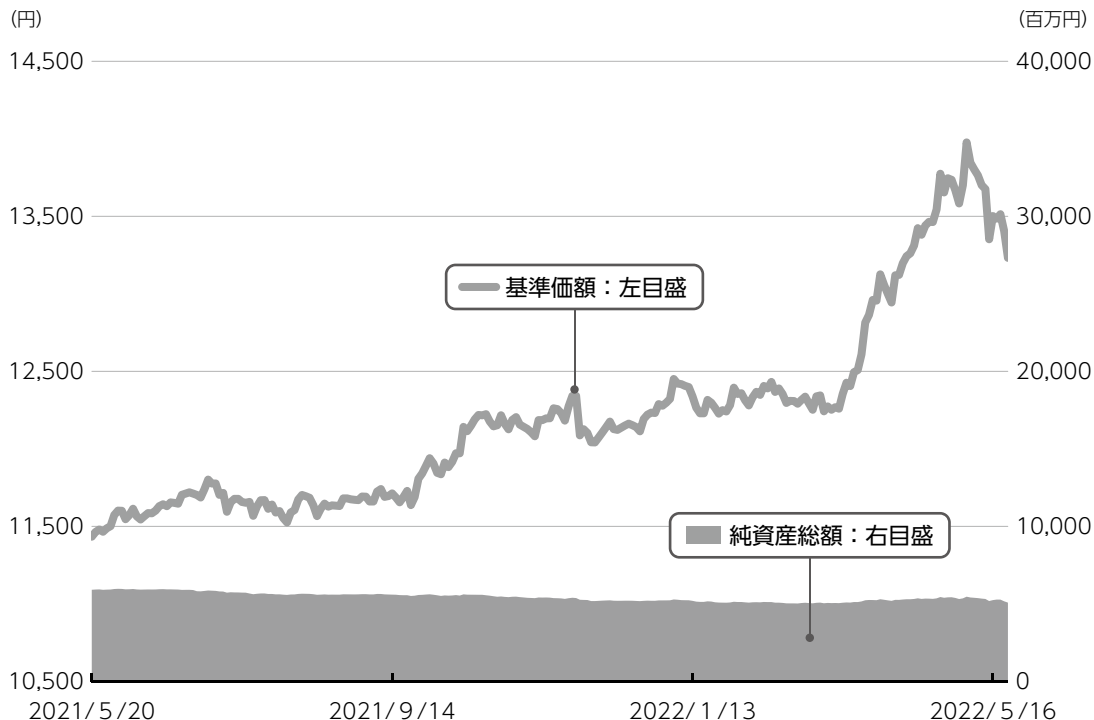
ウエスタン・アセット・マネジメント・カンパニー・エルエルシー
ポートフォリオ・マネージャー
ライアン・コーハン

運用経過

第8期：2021年5月21日～2022年5月20日

▶ 当期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第8期首	11,433円
第8期末	13,232円
既払分配金	0円
騰落率	15.7%

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は期首に比べ15.7%の上昇となりました。

基準価額の主な変動要因

上昇要因

利子収入を獲得したこと等が基準価額の上昇要因となりました。
米ドルが対円で上昇したこと等が基準価額の上昇要因となりました。

下落要因

一部のバンクローンの価格が下落したこと等が基準価額の下落要因となりました。
信託報酬等の運用上の費用を計上したこと等が基準価額の下落要因となりました。

2021年5月21日～2022年5月20日

1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	151	1.237	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (期中の日数 ÷ 年間日数)
(投 信 会 社)	(53)	(0.434)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(94)	(0.770)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(4)	(0.033)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	0	0.003	(b) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.003)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
合 計	151	1.240	

期中の平均基準価額は、12,204円です。

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

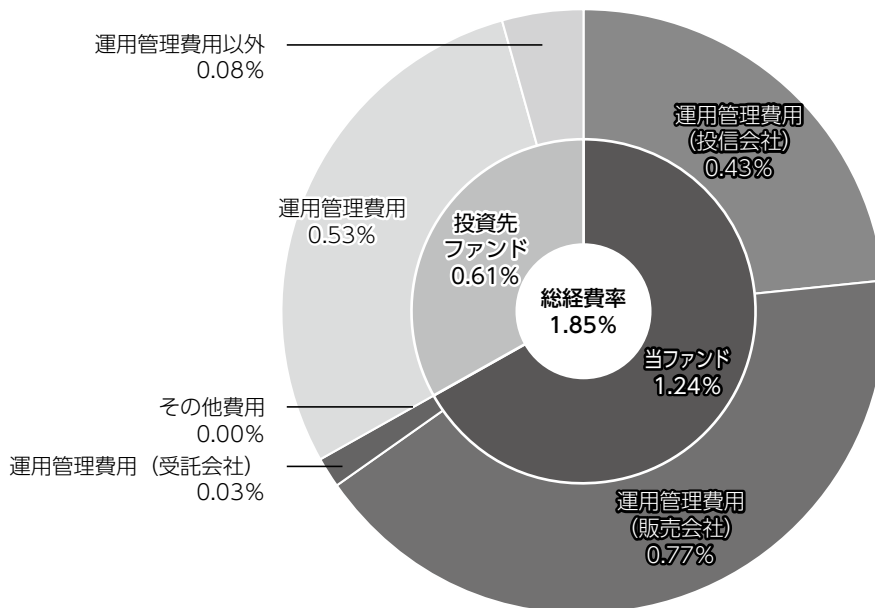
(注) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入れ上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.85%**です。



総経費率 (①+②+③)	(%)	1.85
①当ファンドの費用の比率	(%)	1.24
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	(%)	0.53
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	(%)	0.08

(注) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

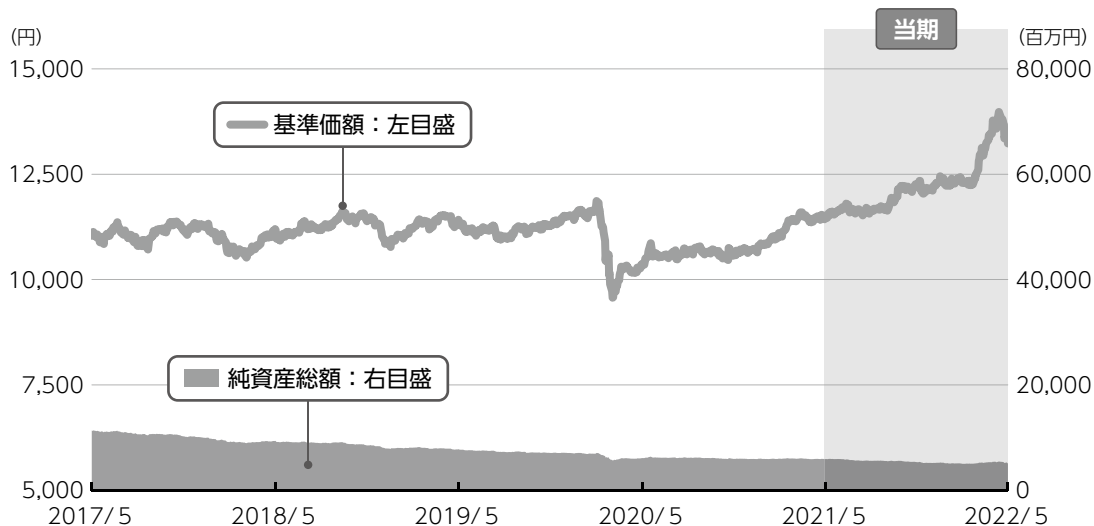
(注) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

2017年5月22日～2022年5月20日

最近5年間の基準価額等の推移について



最近5年間の年間騰落率

	2017/5/22 期初	2018/5/21 決算日	2019/5/20 決算日	2020/5/20 決算日	2021/5/20 決算日	2022/5/20 決算日
基準価額 (円)	11,087	11,142	11,350	10,350	11,433	13,232
期間分配金合計 (税込み) (円)	-	0	0	0	0	0
基準価額騰落率 (%)	-	0.5	1.9	-8.8	10.5	15.7
純資産総額 (百万円)	11,342	9,345	7,757	6,103	5,905	5,076

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

投資環境について

▶ バンクロン市況

米国バンクロン市況は下落しました。

期前半は、世界的な新型コロナウイルス変異株の感染拡大への懸念等がマイナス要因となったものの、2021年8月に発表された2021年7月の米連邦公開市場委員会（FOMC）議事要旨で早期の金融緩和縮小に対して慎重な見方が示されたことや、原油価格が上昇したこと等がプラス要因となり、米国バンクロン市況は上昇しました。

期後半は、感染が拡大していた新型コロナウイルスオミクロン株に対するワクチンの有効性が示されたこと等を背景に、市場のリスク回避姿勢が後退したこと等がプラス要因となりました。一方、米連邦準備制度理事会（FRB）による金融引き締めへの警戒感から米国株が下落したことやロシアによるウクライナ侵攻が開始されたこと、上海や北京でのロックダウンを受けて中国景気の鈍化が懸念されたこと等を受け、投資家のリスク回避姿勢が強まったこと等がマイナス要因となり、米国バンクロン市況は下落しました。

▶ 為替市況

米ドルは対円で上昇しました。

期前半は、世界的な新型コロナウイルス

変異株の感染拡大への懸念等から投資家のリスク回避姿勢が強まったことが円高米ドル安要因となったものの、2021年9月のFOMCにおいて参加者の約半数が2022年内の利上げ開始を予想するなど金融引き締めのスタンスが示されたこと等を背景に、米ドルは対円で上昇しました。

期後半は、新型コロナウイルスオミクロン株に対する懸念が後退したことや、FOMCで利上げが決定されたことや前回の引き締め局面よりも早いペースでの利上げやバランスシートの縮小が市場において意識されたこと等を背景に、米ドルは対円で上昇しました。

▶ 国内短期金融市場

無担保コール翌日物金利は0%を下回る水準で推移しました。

当期の短期金融市場をみると、日銀は長短金利を操作目標として金融市場調整を行いました。コール・レート（無担保・翌日物）はマイナス圏で推移し、足下のコール・レートは-0.020%となりました。

▶ 当該投資信託のポートフォリオについて

▶ 米国バンクローン・オープン<為替ヘッジなし> (年1回決算型)

円建ての外国投資信託であるウエスタン・アセット・米国バンクローン (オフショア) ファンドー J P Y アンヘッジド・クラスを高位に組み入れた運用を行いました。また、マネー・マーケット・マザーファンド投資信託証券を一部組み入れた運用を行いました。

▶ マネー・マーケット・マザーファンド
コール・ローン等短期金融商品を活用し、
利子等収益の確保を図りました。

▶ ウエスタン・アセット・米国バンクローン (オフショア) ファンドー J P Y アンヘッジド・クラス

主に米ドル建ての米国企業向けバンクローンを高位に組み入れ、米国企業が発行する米ドル建てのハイイールド債券等を一部組み入れました。

投資戦略については、格付配分では、相対的に高い利回りを獲得するため、引き続きB格相当への投資比率を高位で維持しました。また、セクター配分では、通信セクター等への投資比率を低位で維持しました。一方、一般消費財セクターや生活必需品セクター等への投資比率を高位で維持しました。

▶ 当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

▶ 分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第8期
	2021年5月21日～2022年5月20日
当期分配金 (対基準価額比率)	- (-%)
当期の収益	-
当期の収益以外	-
翌期繰越分配対象額	6,414

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針 (作成対象期間末での見解です。)

▶ 米国バンクローン・オープン<為替ヘッジなし> (年1回決算型)

円建て外国投資信託への投資を通じて、主に米ドル建ての米国企業向けバンクローン等を実質的な投資を行うほか、米国企業が発行する米ドル建てのハイイールド債券等にも投資を行います。また、一部マネー・マーケット・マザーファンド投資信託証券の組み入れを維持します。

▶ ウェスタン・アセット・米国バンクローン (オフショア) ファンドー J P Y アンヘッジド・クラス

今後の投資戦略については、企業が保有資産に対する十分な担保を保持しているかどうか、また強固で継続的なキャッシュフローを生み出せるかどうか、といった観点等に着目し、慎重な銘柄選択に努めます。

▶ マネー・マーケット・マザーファンド

今後も日銀による金融緩和政策が継続すると想定されることから、短期金利は引き続き低位で推移すると予想しています。以上の見通しにより、コール・ローン等への投資を通じて、安定した収益の確保をめざした運用を行う方針です。

お知らせ

▶ 約款変更

- ・該当事項はありません。

▶ その他

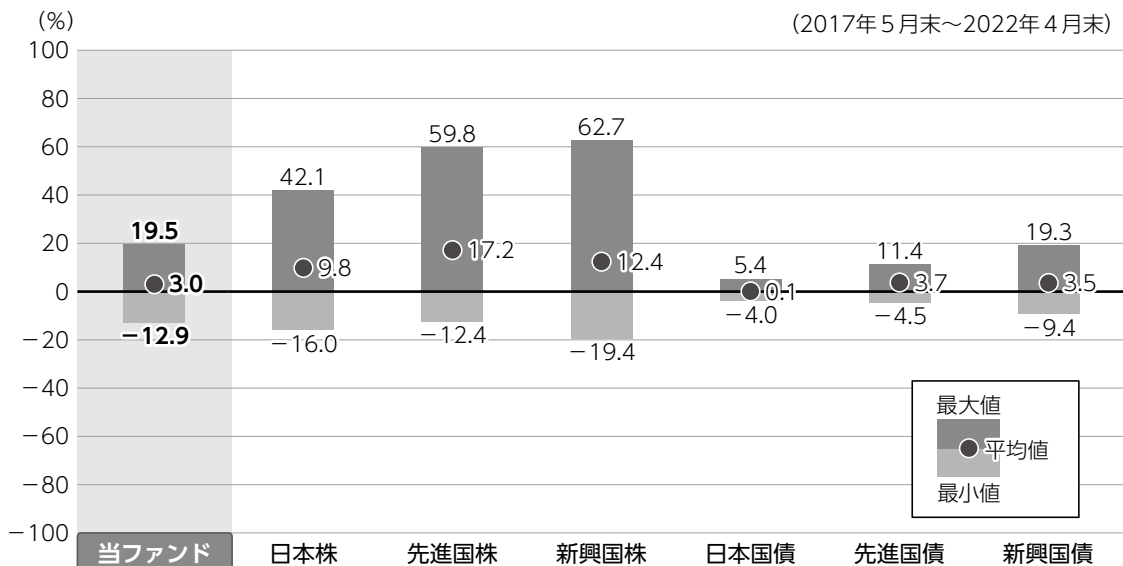
- ・該当事項はありません。

*本書が、受益者のみなさまのお手元に届くのは作成対象期間末から2ヵ月以上が経過していることにご留意ください。
なお、最近の運用状況や約款変更の内容等は当社ホームページ (<https://www.am.mufig.jp/>) にて開示を行っている場合があります。

当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／海外／その他資産（バンクローン）
信託期間	2024年5月20日まで（2014年5月27日設定）
運用方針	<p>主として円建ての外国投資信託であるウエスタン・アセット・米国バンクローン（オフショア）ファンドー J P Y アンヘッジド・クラスの投資信託証券への投資を通じて、米ドル建ての米国企業向けバンクローン（貸付債権）等を中心に実質的な投資を行い、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざします。</p> <p>当該外国投資信託においては、米国企業が発行する米ドル建てのハイイールド債券等にも投資を行います。</p> <p>なお、証券投資信託であるマネー・マーケット・マザーファンドの投資信託証券への投資も行います。</p> <p>円建ての外国投資信託への投資は高位を維持することを基本とします。</p> <p>実質的な組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p> <p>投資対象とする円建外国投資信託の運用は、ウエスタン・アセット・マネジメント・カンパニー・エルエルシーが行います。</p> <p>円建外国投資信託等への投資にあたり、ウエスタン・アセット・マネジメント株式会社の投資助言を受けます。</p>
主要投資対象	<p>■当ファンド</p> <p>ウエスタン・アセット・米国バンクローン（オフショア）ファンドー J P Y アンヘッジド・クラスおよびマネー・マーケット・マザーファンドの投資信託証券を主要投資対象とします。</p> <p>■ウエスタン・アセット・米国バンクローン（オフショア）ファンドー J P Y アンヘッジド・クラス</p> <p>米ドル建ての米国企業向けバンクローン等を主要投資対象とします。</p> <p>■マネー・マーケット・マザーファンド</p> <p>わが国の公社債等を主要投資対象とします。外貨建資産への投資は行いません。</p>
運用方法	米ドル建ての米国企業向けバンクローン（貸付債権）等を実質的な主要投資対象とし、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざします。
分配方針	<p>経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。</p> <p>分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。（基準価額水準や市況動向等により変更する場合があります。）</p>

ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



●上記は、2017年5月から2022年4月の5年間に於ける1年騰落率の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて定量的に比較できるように作成したものです。

各資産クラスの指数

日本株	東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)
先進国株	MSCI コクサイ・インデックス (配当込み)
新興国株	MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み)
日本国債	NOMURA-BPI (国債)
先進国債	FTSE世界国債インデックス (除く日本)
新興国債	JPMorgan Global Diversified

※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

●全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

●騰落率は直近前月末から60ヵ月遡った算出結果であり、ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

当該投資信託のデータ

2022年5月20日現在

当該投資信託の組入資産の内容

組入ファンド

(組入銘柄数：2銘柄)

ファンド名	第8期末 2022年5月20日
ウエスタン・アセット・米国バンクローン (オフショア) ファンド- JPY アンヘッジド・クラス	99.3%
マネー・マーケット・マザーファンド	0.1%

※比率は当ファンドの純資産総額に対する各投資信託証券の評価額の割合です。

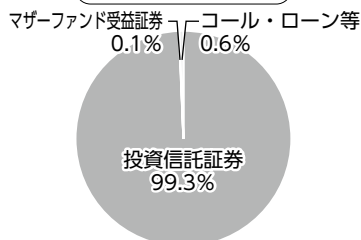
純資産等

項目	第8期末 2022年5月20日
純資産総額 (円)	5,076,999,906
受益権口数 (口)	3,836,932,321
1万口当たり基準価額 (円)	13,232

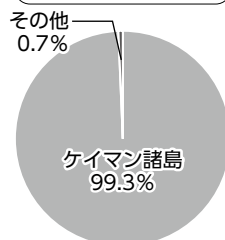
※当期中において追加設定元本は134,512,062円
同解約元本は1,462,800,429円です。

種別構成等

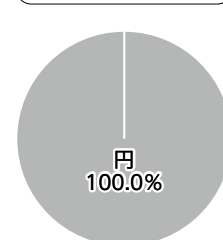
資産別配分



国・地域別配分



通貨別配分



※比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。

※国・地域別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先としてのファンドの余剰資金等と合せて運用しているものを含みます。

※【国・地域別配分】、【通貨別配分】は、組入ファンドの発行地、発行通貨を表示しています。

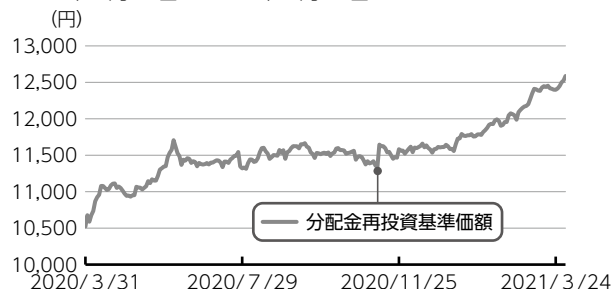
2021年3月31日現在

組入上位ファンドの概要

▶ ウェスタン・アセット・米国バンクロン (オフショア) ファンドー JPY アンヘッジド・クラス

基準価額の推移

2020年3月31日～2021年3月31日



1万口当たりの費用明細

2020年4月1日～2021年3月31日

1万口当たりの費用明細に相当する情報がないため、開示できません。

【参考情報】

費用項目	比率
運用管理費用 (信託報酬)	0.54%
その他	0.08%
費用合計	0.62%

※上記はウェスタン社から提供された費用明細を三菱UFJ国際投信が「運用管理費用 (信託報酬)」と「その他」に分類して表示したものです。
 ※比率は、上記分類による費用金額の合計を期中の平均純資産総額で除した参考値です。

基準価額の推移・1万口当たりの費用明細以外の開示情報につきましては、各クラス分けされたものがないため、「ウェスタン・アセット・米国バンクロン (オフショア) ファンド」ベースで表示しています。

▶ ウェスタン・アセット・米国バンクロン (オフショア) ファンド

組入上位10銘柄

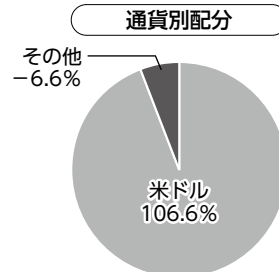
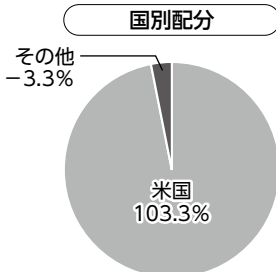
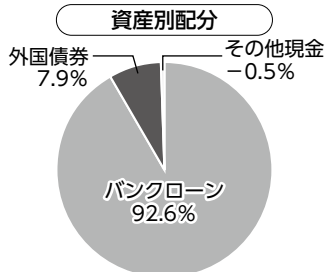
(組入銘柄数：265銘柄)

	銘柄	種類	国	比率(%)
1	WP CPP HOLDINGS L TL B 1L	バンクロン	米国	1.3
2	EYECARE PARTNERS TL 1L	バンクロン	米国	1.3
3	US RENAL CARE INC TL B 1L	バンクロン	米国	1.2
4	APOLLO CMMRL REAL TL B 1L	バンクロン	米国	1.1
5	GLOBAL TEL*LINK C TL 1L	バンクロン	米国	1.1
6	CARDINAL PARENT I TL B 1L	バンクロン	米国	1.1
7	GANNETT HOLDINGS TL B 1L	バンクロン	米国	1.1
8	AADVANTAGE LOYALT TL 1L	バンクロン	米国	1.0
9	TRANSDIGM INC TL F 1L	バンクロン	米国	1.0
10	ADTALEM GLOBAL ED TL B 1L	バンクロン	米国	1.0

※比率はマスターファンドの純資産総額に対する割合です。

※なお、全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書 (全体版) でご覧いただけます。

種別構成等



※比率はマスターファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。
 ※組入比率のデータは経過利子を含んでおり、運用報告書(全体版)のデータとは一致しないことがあります。

968469

2022年5月20日現在

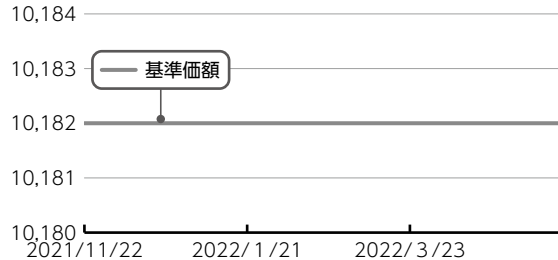
組入上位ファンドの概要

マネー・マーケット・マザーファンド

基準価額の推移

2021年11月22日～2022年5月20日

(円)



1万口当たりの費用明細

2021年11月23日～2022年5月20日

当期において費用が発生していないため、費用明細は作成していません。

組入上位10銘柄

(組入銘柄数：2銘柄)

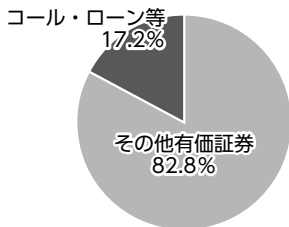
順位	銘柄	種類	国・地域	業種/種別	比率(%)
1	J Aミツイリース 220523	その他有価証券	日本	コマーシャル・ペーパー	69.0
2	ホクエツコーポ 220523	その他有価証券	日本	コマーシャル・ペーパー	13.8
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。
※原則、国・地域については、発行地を表示しています。

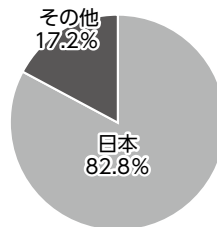
※なお、全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)でご覧いただけます。

種別構成等

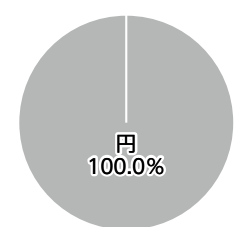
資産別配分



国・地域別配分



通貨別配分



※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。
構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。

※原則、国・地域については、発行地を表示しています。

※国・地域別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等(国内外)を相手先とし他のファンドの余剰資金等と合せて運用しているものを含みます。

指数に関して

▶ 「ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

● 東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

東証株価指数 (TOPIX) (配当込み) とは、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、浮動株ベースの時価総額加重方式により算出される株価指数です。TOPIXの指数値及びTOPIXに係る標章又は商標は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社 (以下「JPX」という。) の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関するすべての権利・ノウハウ及びTOPIXに係る標章又は商標に関するすべての権利はJPXが有します。

● MSCI コクサイ・インデックス (配当込み)

MSCI コクサイ・インデックス (配当込み) とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCI コクサイ・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

● MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み)

MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み) とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCI エマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

● NOMURA-BPI (国債)

NOMURA-BPI (国債) とは、野村證券株式会社が発表しているわが国の代表的な国債パフォーマンスインデックスで、NOMURA-BPI (総合) のサブインデックスです。当該指数の知的財産権およびその他一切の権利は同社に帰属します。なお、同社は、当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

● FTSE世界国債インデックス (除く日本)

FTSE世界国債インデックス (除く日本) は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

● J PモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド

J PモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイドとは、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している指数で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。現地通貨建てのエマージング債のうち、投資規制の有無や、発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。当指数の著作権はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。